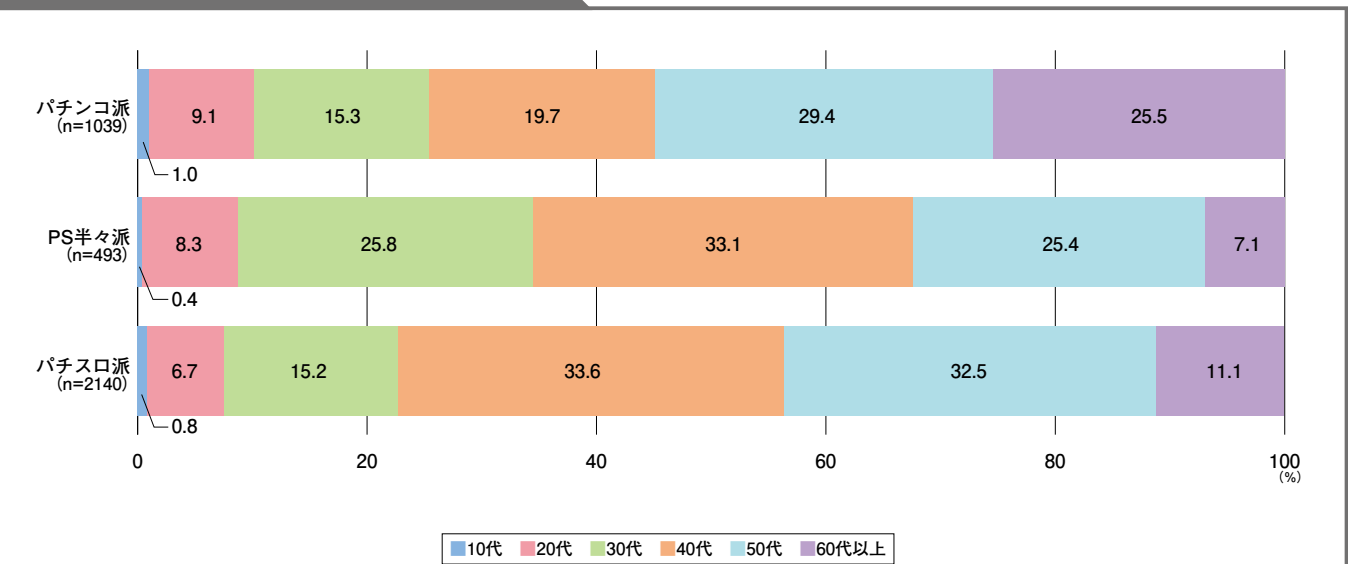


年代

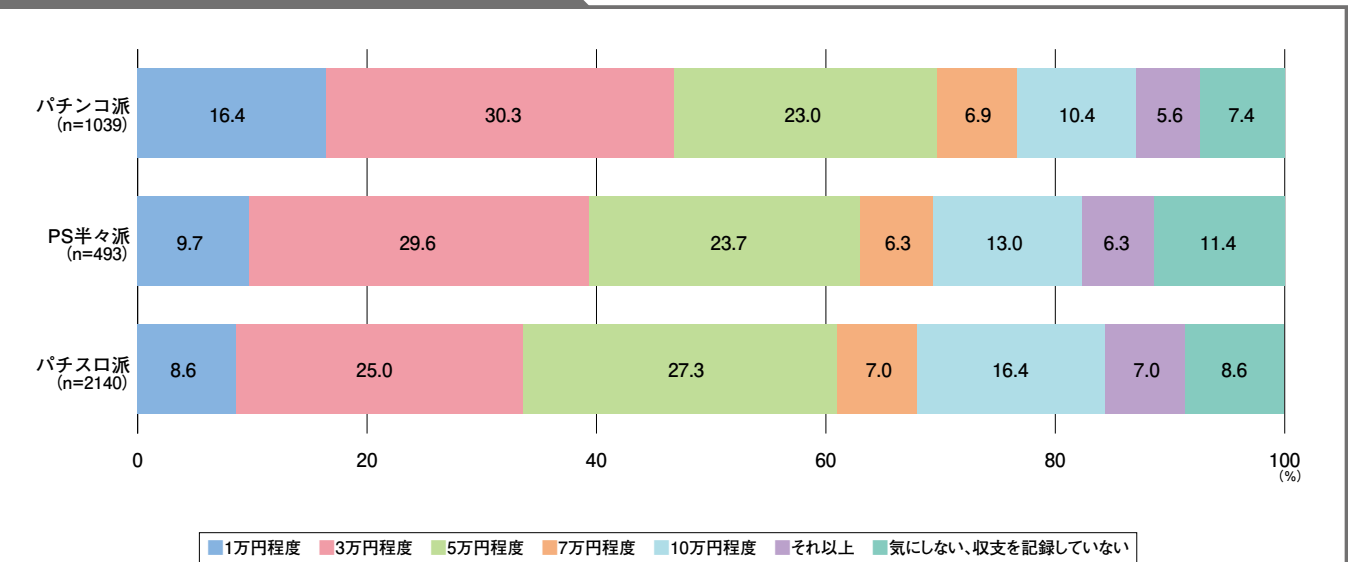


全年代に支持されるパチスロ

回答者全体の年代分布は、50代(30.7%)と40代(29.6%)が突出し、30代(16.6%)と60代以上(14.7%)が後続く。パチンコ派ではほかの派より60代以上の比率が高く、PS半々派では30代の割合が高い。

パチスロ派のグラフは、全体の分布をほぼトレースしている。これは各年代の最大勢力が、パチスロ派であるためだ。ただし60代以上に限っては、パチンコ派の比率(49%)がパチスロ派の比率(44%)を若干上回っている。

ひと月の遊技予算



月5万負けで6割超は自制する

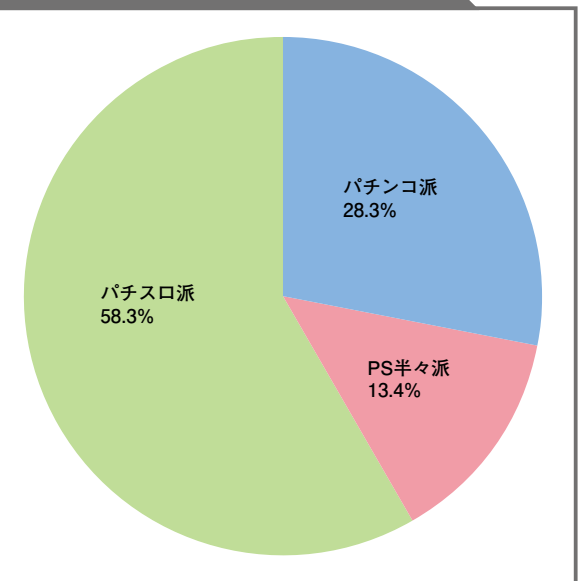
続きはデジタルブックで  
ご覧いただけます。

詳細はこちら▶

「月5万負け」を尋ねたところ、5万円以上だった。収支を気にしない人が1割強、強迫的や逃避的な動機で

パチンコ派とパチスロ派を比べると、パチンコ派の方が少ない予算で遊技している人の割合が高い。理由の一つは、パチスロよりも低貸し機の台数が多いため。パチスロ派のおよそ4割は、7万円以上の予算を組んでいる。

プレイする遊技機の種別



調査概要

調査対象 : 「DMMぱちタウン」の利用者  
調査方法 : トップバナーから回答ページに誘導  
実施時期 : 2025年12月5日から11日まで  
有効回答数 : 3672  
設問数 : 最大30問

現行プレイヤーの動向を知ることが目的である本調査では、アンケート回答者の中から直近1年以内に遊技した人だけを抽出している。有効回答数は3672。分析では回答者が好んで打つ遊技機の種別に応じて、左の円グラフのとおり三つの派に分類した。

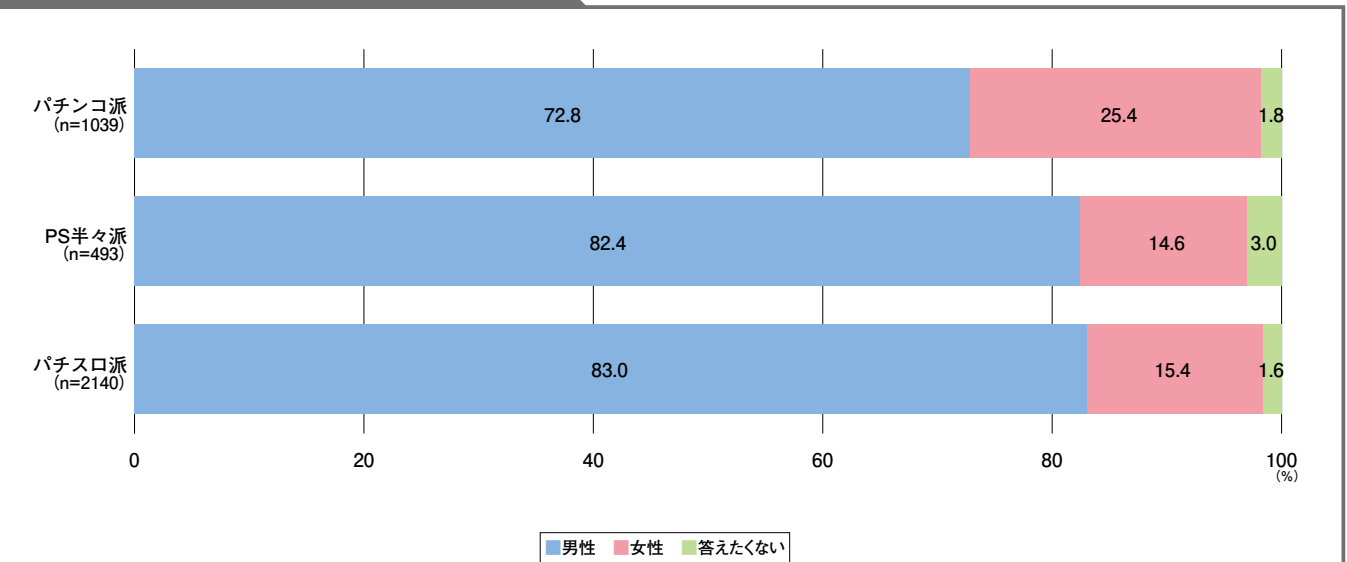
「パチンコ派」は、パチンコだけを打つ人(17.3%)と主にパチンコを打つ人(10.9%)を指す。「PS半々派」は、それぞれを同程度に打つ人(13.4%)。「パチスロ派」は、パチスロだけを打つ人(23.8%)と主にパチスロを打つ人(34.4%)だ。

スマスロ人気を裏付けるように、パチスロ派がパチンコ派の2倍に及んだ。パチンコもパチスロもプレイする“クロスオーバー層”は過半数の58.8%。クロスオーバー層の中でも、パチスロに比重を置く人の方が多い。

回答者の主な属性を見ると、男性比率が8割を占める。年代では40代と50代がともに3割でボリュームゾーン。30代以下は25%で、平均48歳程度と推計される。

なお本調査では代表的なファン集団から声を集めているが、全国の縮図を表したものではないことを心に留めてほしい。

性別



“パチンコ女子”の広がり期待

各派の性別構成比を見ると、いずれの派でも男性比率の高さが目立つ。男性比率が最も高い派はパチスロ派。PS半々派も同程度だった。パチンコ派では女性比率が25.4%に上り、回答者全体に占める女性比率(18.1%)を上回った。

「レジャー白書2025」では、男性のパチンコ参加者が減り、女性のパチンコ参加者が増えていた。男性パチンコファンがパチスロに軸足を移しているように見えるが、女性パチンコファンの広がりにも期待したい。